

研修報告書

施設長	課長	主任	報告者

1. 研修名	ユニットリーダー実地研修
2. 参加者氏名	
3. 日時・場所	平成26年8月11日～15日 特別養護老人ホーム くわのみ荘
4. 研修内容	<p>「内容」「感想」「その他」欄は、内容に応じ記入欄の調節をして下さい</p> <p>今回、ユニットケアの実地研修である特別養護老人ホームくわのみ荘にて5日間の研修を行ってきました。研修内容として、ユニットケアの導入の経緯、施設見学、ユニット内研修などを行いました。</p> <p>施設内には売店やカフェなどパブリックスペースなどが設けられ、研修中も学童保育があったり地域との交流の場が設けられていました。</p> <p>ユニット内研修では、日々の利用者の過ごし方や職員の動きや関わり方を見学させて頂きました。ユニット内は職員がバタバタすることがなく落ち着いた雰囲気と時間がゆっくりと流れるような空間が漂っていました。しかし、みかんの丘とほぼ同じ介護度のユニットではありましたが、みかんの丘ほど利用者の元気さは感じられませんでした。一言でいうと「静か」でした。食堂では何も話すことなく車椅子に座っていたり、寝ていたりされていました。今回のユニットケアのテキストには「日中、食堂で一人ぼつんと座っている。実はこの時間を好きな人もいる」「何をするわけでもなく過ごす。これは自然の姿」「何もすることがなく暇そうに見えるが実はそうではない」と書かれています。しかし、この見極めは非常に難しいと感じました。一步間違えれば、介護職員が利用者をみていないように見えるからです。</p> <p>みかんの丘の取り組む前提にあるものは「利用者に元気になってもらう」こと。そのために日々基本ケアを実施しています。しかし、それに集中しすぎてユニット内の環境や空間が無視されているのではないかと感じるところがあります。生活の場として職員の動きなど慌しく仕事をしていることがあるのではないかと感じました。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>